

休日急患診療
(☎ 65・8999)

【診療科目】
小児科(日・祝日のみ)内科・外科
【診療時間】
土曜日 後1~9(5・12・19・26日)
日・祝 前9~後9(6・13・20・21・27日)



金	土
4	5 心のおやつ時間 後2:30~3 図書館 あそぼう百人一首 後3~4 図書館 ●イトコの里開館10周年記念 イベント
11	12 心のおやつ時間 後2:30~3 図書館 ●みんスポクラブ市民合同 レクリエーション
18	19 食育の日 自然あそび 後2:30~3:30 図書館 ●市民学校 ●映画「春との旅」上映会 ●ハローヒーブル講座 ●さくら、咲かせる管理と 桜守養成講座
25 電気記念日	26 心のおやつ時間 後2:30~3 図書館 おはなし会 後3~3:30 図書館 ●ハローヒーブル講座 ●無料法律登記相談会

施設名	休館日
学びの里「めいりん」	なし
公民館	21日
図書館	7・14・20・21・28日
本願清水イトコの里	7・14・22・28日
歴史博物館・民俗資料館	7・14・22・28日
穴馬民俗館・笛資料館 和泉郷土資料館	1~31日(4月から開館)
越前大野城	1~31日(4月から開館)
武家屋敷旧内山家	なし
文化会館	7・14・21・23・28日
B&G海洋センター	7・14・21・22・28日
エキサイト広場	2・9・16・22・23・30日
あつ宝んど	8・22日
うらら館	7・14・28日
平成の湯	1・8・15・22・29日
有終会館	平成24年4月1日まで休館

冬季期間

次の施設は休館しています。

穴馬民俗館、和泉郷土資料館、笛資料館は、平成23年3月

31日までの間、**休館**しています。

ご利用できませんので、よろしく
お願いいたします。



※越前大野城は、3月21日から開館します。

【その他】

相談名	開催日	時間	会場・問い合わせ先	
年金相談	17日	前10~後3:30	商工会議所	☎66・1230
結婚相談・女性悩みごと相談 (レディース・トラブル・バスター)	2・9・16・23日	後1:30~3:30	天神館(社会福祉協議会横) (相談日のみ ☎65・0653)	☎66・1111 (児童福祉課 内線295)
心配ごと相談(電話相談可)	3・10・13・17・24・31日	前9~正午	天神館(社会福祉協議会横) (相談日のみ ☎65・0653)	☎65・8773 (社会福祉協議会)

【中小企業相談】(商工業に関する相談)

経営	8日	後1~4	商工会議所 ☎66・1230
労働	10日	後1~4	
金融(日本政策金融公庫・国民生活事業)	11日	前10~正午	
法律 要申込	17日	後1~4	
税務	22日	後1~4	
夜間相談	3・10・17・24・31日	後5:30~8	
和泉地区相談会	2・16日	前10~後3	(会場)和泉ふれあい会館

日	月	火	水	木
<p>■春季全国火災予防運動(1~7日)</p> <p>■全国山火事予防運動(1~7日)</p> <p>■女性の健康週間(1~8日)</p> <p>●印の行事は別の紙面で詳しく記載しています。</p>		<p>1</p> <p>推定筋肉量定期測定 前9~後7 保健センター ●島田明依と仲間展</p>	<p>2</p>	<p>3 ひな祭り 耳の日</p> <p>機能訓練 後1:30~3:30 保健センター 市民課窓口延長 ~後8</p>
<p>6 啓蟄</p>	<p>7 消防記念日</p> <p>機能訓練 後1:30~3:30 保健センター 市民課窓口延長 ~後8</p>	<p>8 国際女性デー</p> <p>●パソコンお悩み相談所</p>	<p>9</p> <p>●「ねんきん定期便」無料相談</p>	<p>10</p> <p>機能訓練 後1:30~3:30 保健センター 市民課窓口延長 ~後8</p>
<p>13</p> <p>●幼年向け読み物講座 ●歴史博物館講座</p>	<p>14</p> <p>機能訓練 後1:30~3:30 保健センター 市民課窓口延長 ~後8</p>	<p>15 青少年育成の日</p>	<p>16</p>	<p>17</p> <p>機能訓練 後1:30~3:30 保健センター 市民課窓口延長 ~後8</p>
<p>20 家庭の日</p> <p>●矢ばなの里・花まつり ●大野地区福祉講演会</p>	<p>21 春分の日</p> <p>ごみの祝日収集・受け入れ 前8:30~正午 後1~4:30 ビュークリーンおくえつ ●七間朝市開き</p>	<p>22 世界水の日</p> <p>1歳半児健康診査 後1~1:40 保健センター</p>	<p>23 世界気象デー</p> <p>3歳児健康診査 後1~1:40 保健センター 絵本の部屋 前10~正午 図書館 介護保険制度説明会 前10~11:30 市役所 ●「ねんきん定期便」無料相談</p>	<p>24 社日 世界結核デー</p> <p>機能訓練 後1:30~3:30 保健センター 市民課窓口延長 ~後8</p>
<p>27</p> <p>ごみの第4日曜日受け入れ 前8:30~正午 後1~4:30 ビュークリーンおくえつ 普通救命講習会(要申込) 前9~正午 消防本部</p>	<p>28</p> <p>機能訓練 後1:30~3:30 保健センター 市民課窓口延長 ~後8</p>	<p>29</p>	<p>30</p> <p>●おはなし会春休みスペシャル</p>	<p>31</p> <p>機能訓練 後1:30~3:30 保健センター 市民課窓口延長 ~後8</p>

 各種相談日

【保健関係】

相談名	開催日	時間	会場・問い合わせ先	
育児相談会	6・16日	前10~11	保健センター	☎65・7333
心の健康相談 要申込	2・16日	後2~3	奥越健康福祉センター	☎66・2076
エイズ相談検査、B型・C型肝炎相談検査	1・15日	前9~11		
女性相談	3・7・10・17・24・31日	前9~後5:15		
育児不安解消サポート教室 (おひさま広場) 要申込	なし			
断酒会	13日	後1~3	学びの里「めいりん」	☎65・5590
幼児のことばと発達相談 要申込	1・8・15・22・29日	前9:30~11:30	ことばの教室(有終東小学校内)	☎65・8535
ニコニコキッズ教室	9・23日	前9:30~11:30	学びの里「めいりん」	☎65・8535 (ことばの教室)
補聴器相談	22日	前10~正午	市役所社会福祉課相談室	☎66・1111 (社会福祉課 内線472)
身体障害者巡回相談 要申込	2日	前10~後2	文化会館	

【法律関係】

人権相談・行政相談	3・17日	後1:30~3:30	天神館(社会福祉協議会横)	☎66・1111 (総務課 内線244)
法律相談 要申込	10・24・31日	後1~4	天神館(社会福祉協議会横)	☎65・8773 (社会福祉協議会)

教室・講座

イトヨの里開館10周年記念 イベント「公開学習会」

日時 3月5日 日 午後1時～3時30分

場所 イトヨの里

テーマ 「淡水魚・湧水保全一研究活動報告と今後の課題」

発表者 ▷福井県立大学講師・小北智之さん▷中野清水を守る会・安川昭夫さん▷NPO法人田んぼの学校越前大野・真名川水辺の楽校・高津琴博さん▷大野の水環境ネットワーク・寺脇敬永さん▷福井県淡水魚研究会・岡友章さん▷イトヨの里館長・森誠一(岐阜経済大学教授)や同館職員

定員 60人(先着)

参加料 無料

その他 事前申込は不要

☎ 本願清水イトヨの里 (☎65・5104)

大野地区福祉講演会

日時 3月20日 日 午後2時～3時30分

場所 学びの里「めいりん」

演題 命をつなぐー東尋坊・命の灯台守としてー

講師 NPO法人心に響く文集・編集局代表 茂幸雄さん

受講料 無料

締切 3月16日 日

☎ 大野公民館 (☎66・2828)

みんなでスポーツ ヨガ体験教室

ヨガを体験して健康の増進を図りましょう。

期間 (全3回) 3月15日～29日の 日

時間 午後7時30分～8時30分

場所 下庄公民館

講師 山崎知代美さん

定員 20人(先着)

参加費 1,000円(保険代込み)

みんスポクラブ会員は無料)

持ち物 タオル、運動のできる服装

締切 3月11日 日

☎ 下庄公民館 (☎66・2142)

ストレッチヨガ教室

期間 (全3回) 3月11日～25日の 日

時間 午後7時～8時30分

場所 富田公民館

講師 三村麻美子さん

定員 10人(先着)

受講料 無料

持ち物 ヨガマットかバスタオル、飲み物

締切 3月9日 日

☎ 富田公民館 (☎66・4101)

かぎ針編みの ペタンコバッグ講座

ちょっとした外出に使えるネット編みの小さめバッグを作ってみませんか。

日時 (全2回) 3月18日 日、25日 日 午後7時～9時

場所 勤労青少年ホーム(下庄公民館併設)

講師 前田裕子さん、三嶋ゆかりさん

定員 15人(先着)

受講料 1,600円(材料代込み)

持ち物 4号のかぎ針

締切 3月14日 日

☎ 勤労青少年ホーム

(☎65・7221)

乳製品を使った料理講座

森永乳業の出張料理教室「エムズキッチン」を開催します。身近な素材に、良質な栄養を多く含んだ乳製品を加え、簡単でおいしく調理して試食します。

日時 3月22日 日 午前10時～午後0時30分

場所 勤労青少年ホーム(下庄公民館併設)

講師 森永乳業派遣の栄養士

定員 20人(先着)

受講料 500円程度(材料代込み)

持ち物 エプロン、タオル、三角巾

その他 メニューはモツツアレラのシンプルロール、サバのミルクカレー、モモのカスタードスパイス風味を予定

締切 3月14日 日

☎ 勤労青少年ホーム

(☎65・7221)

幼年向け読み物講座

日時 3月13日 日 午前10時～正午

場所 図書館

内容 幼年児童文学の読み聞かせについて

講師 元兵庫県太子町立図書館長 小寺啓章さん

対象 保護者など

定員 50人(先着)

締切 3月11日 日

☎ 図書館 (☎65・5500)

歴史博物館講座

日時 3月13日 日 午後1時30分～3時

場所 図書館

テーマ 「忘れ去られた遺跡 道元・金山開発・大野城(その2)」

講師 市博物館長

定員 50人(先着)

受講料 無料

締切 3月12日 日 午後4時

☎ 歴史博物館

(☎FAX65・5520)

Eメール hakubutsukan@city.fukui-ono.lg.jp

さくら、咲かせる管理と 桜守養成講座

日時 3月19日 日 午前9時集合

場所 亀山公園。結ステーション駐車場に集合

内容 亀山公園を歩きながら、サクラの病気や特性、せん定などの管理技術について学ぶ

講師 おおの桜守の会員

受講料 無料

その他 事前申込は不要

☎ おおの桜守の会 高松さん (☎66・5949)



イベント・催し

みんスポクラブ 市民合同レクリエーション

みんスポクラブが、軽スポーツの普及を目的にレクリエーション大会を開催します。

日時 3月12日(土)午前9時～午後1時

場所 学びの里「めいりん」

参加料 無料

内容 ▷ソフトバレーボール交流会▷メニュー体験スタンプラリー（卓球やバウンドテニス、バドミントンなどさまざまなスポーツを体験した人に、景品を贈ります）▷お楽しみ抽選会

その他 事前申込は不要

☎ みんスポクラブ事務局
(☎66・1990)

映画「春との旅」上映

家族をめぐる老人と孫娘の旅の行方。名匠、小林政広監督が描き、仲代達矢をはじめ、名優たちが結集して作られたこの作品は、生きることの素晴らしさをうたう感動作です。

日本映画ペンクラブ選定の「日本映画部門2010年度ベスト5」に入り、第65回毎日映画コンクールで日本映画優秀賞に輝きました。出演は仲代達矢、徳永えり、大滝秀治、小林薫、香川照之ほか。

月日 3月19日(土)

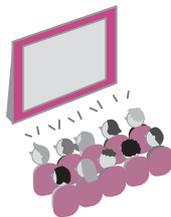
時間 【昼の部】午後2時（開場は午後1時30分）【夜の部】午後6時30分（開場は午後6時）
上映時間は2時間15分

場所 文化会館

入場料 一般1,000円、中学生以下500円、未就学児は入場不可、全席自由。入場券は文化会館、各公民館、図書館、市教育総務課で販売します

その他 主催は市教育委員会

☎ 文化課文化係
(☎66・5410)



春の火災予防運動

3月
20日～
26日

春は空気が乾燥し、風の吹く日が多いことから、火災が発生しやすい季節です。火の取り扱いには十分に注意してください。

住宅防火 命を守る7つのポイント

3つの習慣

- ⚠ 寝たばこはやめる
- ⚠ ストープは燃えやすい物から離れた位置で使用する
- ⚠ ガスこんろなどから離れるときは火を消す

4つの対策

- ⚠ 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する
- ⚠ 寝具や衣類、カーテンからの火災を防ぐために、防災品を使用する
- ⚠ 火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器などを設置する
- ⚠ お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる

住宅用火災警報器 設置期限まで3カ月

設置完全義務化は6月1日です。住宅火災から命を守るには、住宅用火災警報器を設置することが重要です。火災のときに「早い発見」「早い避難」のために住宅用火災警報器を設置しましょう。

☎ 消防署予防課 (☎66・0119)

教室・講座

おはなし会 春休みスペシャル

日時 3月30日(土)午後2時～3時

場所 図書館

内容 おはなし会（昔話と宮沢賢治の世界）

講師 細川律子さん

対象 小学生以上

定員 50人（先着）

受講料 無料

その他 事前申込は不要

☎ 図書館 (☎65・5500)

<第58回>

日時 3月26日(土)午前10時～正午

場所 図書館

内容 「ビーズでストラップを作ろう」

講師 吉田英子さん

対象 一般

定員 15人（先着）

受講料 1,000円（材料代込み）

持ち物 はさみ

締切 3月19日(土)

☎ 図書館 (☎65・5500)

市民学校 （ふるさと大野今昔コース）

日時 3月19日(土)午後1時30分～3時

場所 学びの里「めいりん」

テーマ 「遺跡が語る城下町大野」

講師 市文化課職員

受講料 無料

その他 事前申込は不要

☎ 社会教育課社会教育係
(☎65・5590)

ハローピープル講座

<第57回>

日時 3月19日(土)午前10時30分～正午

場所 図書館

内容 「山菜について知ろう」

対象 一般

講師 石本昭司さん

定員 20人（先着）

締切 3月15日(木)

平成大野屋マガジン『おおのじかん』を発行

平成大野屋マガジン『おおのじかん』は、平成大野屋番頭会が企画や編集を行い、年2回発行されています。第8弾が3月21日、七間朝市開きに合わせて発行されます。

特集は「JR越前大野駅」。昨年12月15日に開業50周年を迎えたJR越前大野線の中心駅としての貴重な資料などを交えて、駅の魅力を伝えます。

同誌はJR越前大野駅をはじめ、大野商工会議所、輝センター、平成大野屋、観光協会などの観光施設や観光スポットに無料で配布しています。

圃 平成大野屋本店事務局（産業政策課政策推進係内 ☎66・1111内線392）



平成大野屋の新番頭を募集

平成大野屋マガジン『おおのじかん』の企画・編集のほか、平成大野屋支店主とする各地の大野姓の人との交流、地元で開催される各種行事への参加などを通して、「ひとづくり」「まちづくり」に取り組む平成大野屋番頭会。その番頭会の

メンバーになりませんか。まちづくりや平成大野屋事業に興味のある20歳以上の人であれば参加できます。

募集人員 7人以内

募集期間 3月1日～28日

応募方法 平成大野屋事業ホームページにある申込用紙に必要事項を記入して送付か持参
<http://jigyo.h-onoya.co.jp/>

圃 平成大野屋本店事務局（産業政策課政策推進係内 ☎66・1111内線392）

定時制生徒の雇用や職場紹介に協力を

大野高校定時制生徒の雇用や職場の紹介にご協力ください。

同校は働きながら学ぶことができる奥越で唯一の高校です。同校の生徒がアルバイトなどで働くことのできる職場を求めています。

働くことができる時間は、第1、2年生は午後から、第3、4年生は隔週で午前と午後が入れ替わります。

圃 大野高等学校（☎66・3411）

JICAボランティア募集

開発途上国では、さまざまな分

野において、技術や知識、経験が必要とされています。あなたも、海外ボランティアへの扉をたたいてみませんか。

募集期間 4月1日(金)～5月16日(日)
○説明会

日時 4月16日(日)①午前10時30分～午後0時30分②午後2時～4時
場所 県国際交流会館(福井市宝永3丁目)

内容 ①シニア海外ボランティア ②青年海外協力隊

対象 ①40歳～69歳②20歳～39歳
その他 詳しくはJICAホームページをご覧ください

圃 JICA北陸（☎076・233・5931）

矢ばなの里・花まつりかたくりまつり

日時 3月20日(日)～4月17日(日)
場所 矢区一帯

内容 3月20日午前10時からのオープニングイベントではアジサイを記念植樹、カタクリの移植作業を行う。期間中の(日)にはテント市や出店がある

その他 詳しくは実行委員会ホームページをご覧ください

<http://www.yabananet.com/>
圃 矢花まつり実行委員会 高松さん（☎66・5949）

～越前おおの結楽座内のワゴン販売スペース～ 6月利用分から予約の方法を変更

スペース隣接の藩主隠居所で受け付け

越前おおの結楽座内のワゴン販売スペースを利用する場合、事前に予約することができます。6月以降の利用については、ワゴン販売スペース東側に隣接している「藩主隠居所」の事務室で受け付けます。受け付けは午前9時から午後5時まで。

6月1日以降に利用を予定している場合、4月1日午前9時から予約が可能です。

4月以降は調整会議を開催せず

越前おおの結楽座内にあるワゴン販売スペースは、特産物や農林産物などを販売する場所として、1日単位で貸し出しています。

従来、利用しようとする日の約2カ月前に開催する調整会議への参加が必要でしたが、4月以降は調整会議を開催しません。

予約状況は掲示板や市ホームページに

予約状況は随時、市ホームページに掲載するほか、ワゴン販売スペース横の掲示板でお知らせしていますので活用してください。

ワゴン販売スペース利用料はワゴン1台につき200円で、市外在住の人は5割増しの300円です。

圃 産業政策課政策推進係（☎66・1111内線392）

お知らせ

パソコンお悩み相談所

日ごろ、あなたが困っているパソコンの悩みを解決します。

日時 (全3回) 3月8日～22日の
 四午後7時～9時

場所 学びの里「めいりん」

講師 おおのIT講師グループ

定員 20人(先着)

相談料 無料

相談方法 当日、来場して相談してください▷スムーズに解決するため、できる限り事前に相談内容をファクスやEメール、電話で連絡してください▷自分のパソコンを持参して相談することもできます。インターネットには接続できません

その他 すべての問題について解決できるとは限りません

☎ 社会教育課社会教育係

(☎65・5590 FAX66・2885)

Eメール syakai@city.fukui-ono.lg.jp

国民年金保険料の追納

国民年金保険料の免除や30歳未満対象の若年者納付猶予を受けている人は、さかのぼって保険料を納めること(追納)をしないと、将来、受け取る年金額が少なくなります。追納は10年以内であればすることができます。

ただし、承認を受けた年度から起算して3年度目以降に追納する場合、当時の保険料額に経過期間に応じた金額が加算されます。追納を希望する人は、問い合わせてください。

☎ 福井年金事務所

(☎0776・23・4516)

「ねんきん定期便」無料相談

福井年金事務所が社会保険労務士による「ねんきん定期便」の無料相談を実施します。

期日 3月9日、23日(四)の午前10時～午後4時

場所 市役所内

その他 「ねんきん定期便」に同封されている書類、印鑑、年金

4月3日 岩倉桜まつりへ シャトルバスを運行

友好交流市である愛知県岩倉市との交流を深めるため、岩倉桜まつりに参加するシャトルバスを運行します。

岩倉市を南北に流れる五條川の桜並木は、桜の名所100選にも選ばれています。桜まつり会場では岩倉市の特産「名古屋コーチン」をはじめ、近隣市町の特産品が販売され、さまざまな味覚が楽しめます。手染めこいのぼりの糊を落とす「のんぼり洗い」が実演されるなど多くの催し物があります。

日時 4月3日(四)午前8時出発、午後6時帰着

発着場所 市役所前

対象 市内在住の人。小学生以下は保護者同伴

定員 80人(抽選)

参加料 1人1,000円(大人、子どもとも)

申し込み方法 ・往復はがきに、次の事項を記入して申し込む。はがき1枚で4人まで申し込むことが可能。申し込みは1人当たり1回まで
 「桜まつりシャトルバス申込」の表示、参加希望者全員の氏名、性別、年齢、住所、電話番号、岩倉桜まつりシャトルバスやいわくら市民ふれ愛まつりシャトルバス利用経験の有無
 ・返信用はがきの宛先として代表者の住所、氏名

締切 3月11日(四) (必着)

その他 昼食や施設利用などは各自で負担してください。会場でも昼食を求めることができます。旅行業者が催行します。

☎ 秘書課秘書係(☎66・1111内線222)
 〒912-8666(住所は書かなくても届きます)

証書か年金手帳を持参(本人以外が相談の場合、委任状が必要)

☎ 市民課保険年金係

(☎66・1111内線456)

が答えます。秘密は厳守します。

日時 3月21日(四)午後1時30分～4時30分

場所 アオッサ(福井市手寄1丁目)

その他 事前申込は不要

☎ 県労働委員会

(☎0776・20・0597)

ごみ祝日・第4日曜受け入れ

月日 3月21日(四)春分の日、27日(四)

時間 午前8時30分～正午、

午後1時～4時30分

場所 ビュークリーンおくえつ

☎ 大野・勝山地区広域行政事務

組合(☎66・6690)

職場での悩みごと 無料相談会

解雇・賃金など労使関係で悩んでいる人を対象として、無料相談会を開催します。労働問題の専門家が

あい 島田明依と仲間展

期間 3月1日(四)～27日(四)

時間 午前9時30分～午後5時

場所 アトリエくのり(七間通り)

入場料 無料

☎ ギャラリーくのり

(☎66・2743)

◆◆職業訓練センター 各種講座案内◆◆

◆パソコン基礎コース2007

パソコン、ワード、エクセルの基礎内容を学ぶ。Office2007のソフトを導入したパソコンを使用

日程 (全15回)①4月5日～28日の[○]～[□]②4月12日～6月7日の[○]～[□](5月3日、5日を除く)

時間 ①午前9時～正午②午後1時～4時

受講料 各2万円

締切 ①3月29日[○]②4月5日[○]

その他 テキスト代は2,100円

◆ゆっくりじっくりパソコン&ワード入門Office2007

パソコン入門とワード入門の内容をゆっくりと学ぶ。Office2007のソフトを導入したパソコンを使用

日程 (全16回)4月1日～28日の[○]～[□]

時間 午前9時40分～11時40分

受講料 1万5000円

締切 3月24日[○]

その他 テキスト代は2,100円

◆ワード入門2007

簡単な文書編集、表の作成方法を学ぶ。Office2007のソフトを導入したパソコンを使用

日程 (全8回)4月5日～28日の[○]～[□]

時間 午後7時～9時

受講料 8,000円

締切 3月29日[○]

その他 テキスト代は2,100円

◆ワード応用2007

応用的な文書作成などを学ぶ。Office2007のソフトを導入したパソコンを使用

日程 (全10回)4月6日～5月13日の[○]～[□](4月29日、5月4日を除く)

時間 ①午後1時30分～3時30分
②午後7時～9時

受講料 各1万円

締切 3月30日[○]

その他 テキスト代は各2,100円

◆ワードビジネス活用編2007

実務に即した題材でワードのビジネスに活用できる機能や効率的

な操作方法を学ぶ。Office2007のソフトを導入したパソコンを使用

日程 (全10回)4月5日～5月12日の[○]～[□](5月3日、5日を除く)

時間 午後7時～9時

受講料 1万円

締切 3月29日[○]

その他 テキスト代は2,730円

◆エクセルビジネス活用編2007

仕事に活かせる関数テクニックを習得し、ビジネスに必須の基本知識も合わせてエクセルを総合的に学ぶ。Office2007のソフトを導入したパソコンを使用

日程 (全10回)4月6日～5月13日の[○]～[□](4月29日、5月4日を除く)

時間 午後7時～9時

受講料 1万円

締切 3月30日[○]

その他 テキスト代は各2,415円

◆インターネット・電子メール入門

ホームページの閲覧方法や電子メールの送受信などを学ぶ

日程 (全5回)4月7日～14日の[○]～[□]

時間 午後1時30分～3時30分

受講料 5,000円

締切 3月31日[○]

その他 テキスト代は1,785円

◆パワーポイント入門2007

パワーポイントの基本操作とプレゼンテーション資料の作成方法を学ぶ。Office2007のソフトを導入したパソコンを使用

日程 (全8回)4月5日～28日の[○]～[□]

時間 午後7時～9時

受講料 8,000円

締切 3月29日[○]

その他 テキスト代は2,100円

◆アクセス初級2003

データベースソフト「アクセス」の基本操作を学ぶ。Office2003のソフトを導入したパソコンを使用

日程 (全10回)4月6日～5月13日の[○]～[□](4月29日、5月4日を除く)

時間 午後7時～9時

受講料 1万円

締切 3月30日[○]

その他 テキスト代は2,100円

◆書道講座 ペン字・細字選択可

季節の挨拶、お礼やお祝いの手紙、履歴書やビジネス文書で発揮できる美しい字を学ぶ

日程 (全12回)4月13日～7月6日の[○]～[□](5月4日を除く)

時間 午後1時30分～3時30分

受講料 9,000円

締切 4月5日[○]

その他 ボールペン、墨汁、半紙、下敷きは貸出可

◆ボールペン字講座

季節の挨拶、お礼やお祝いの手紙、履歴書やビジネス文書で発揮できる美しい字を学ぶ

日程 (全12回)4月13日～7月6日の[○]～[□](5月4日を除く)

時間 午後7時～9時

受講料 9,000円

締切 4月5日[○]

その他 ボールペン、下敷きは貸出可

[○] 職業訓練センター

(☎65・6840)

講師常駐

無料でパソコン使用

IT学習支援センターでは、ワードやエクセルの利用、相談は無料です。利用ください。

利用時間 [○] 午後1時～6時
[□] 午後5時～8時
^田 午前10時～午後5時

平成23年度こもれび学社の受講生を募集

さまざまな講座を開くことによって、市民の皆さんの生涯学習に対する要望に応える「こもれび学社」を開催します。

講座の詳しい内容は、大野公民館ほか市内の公共施設に設置されたチラシや市ホームページをご覧ください。

講座の名称 ▶新しい感覚の和太鼓▶生田流おこと講座▶池坊いけ花&フラワーデザイン▶奥越紙芝居研究会▶押し花講座▶カラダにやさしい食の講座▶「官足法」足もみ健康講座▶茶道裏千家教室昼部▶同夜部▶書道講座▶水墨画講座▶宗生流剣詩舞道会吟の舞▶竹田式体操▶楽しく五・七・五こもれび句会▶手編み講座▶西谷もじり踊り▶パントマイム教室▶ひとりであらにきもの着装講座▶フラ気功マプリザーブドフラワーアレンジ▶料理・お菓子教室（五十音順）

申込方法 電話かEメールで、希望する講座の名称、氏名や連絡先を連絡

締切 3月25日㊦ですが、以降も随時申し込むことができます

㊦ 大野公民館 (☎66・2828)
Eメールono-k@city.fukui-ono.lg.jp

無料法律登記相談会

日時 3月26日㊦午前10時～正午

場所 学びの里「めいりん」

内容 成年後見、多重債務、遺言、不動産、法人登記などの相談

その他 事前申込は不要

㊦ 県司法書士会大野支部 岩井さん
(☎65・8627)



市営住宅空き状況

▶東二番町家住宅 4戸

(2LDK、家賃5万7500円～6万5000円、共益費・駐車場使用料金は別途)

▶西二番町家住宅 2戸

(2LDK、家賃5万7500円～6万5000円、共益費・駐車場使用料金は別途)

※入居には条件がありますので、問い合わせてください

締切 3月15日㊦

㊦ 都市計画課建築住宅係
(☎66・1111内線357)

ちっくたっく の行事予定

ちっく・たっくは親子で参加できる子育て交流ひろばです。ショッピングモールヴィオの定休日を除く毎日開いています。(前10～後6:30)
【定休日】2日(水) 【問い合わせ】☎66・3775

♪子育て塾～マイスターによる身体測定と育児相談

【1歳3カ月未満児対象】 ※母子手帳をご持参ください

1日(火)前10～正午

【1歳3カ月以上児対象】 ※母子手帳をご持参ください

24日(木)前10～正午

♪子育て講演会(大野公民館共催) ※要申込

日時:1回目 4日(金)前10:30～11:30

2回目 9日(水)前10:30～11:30

場所:学びの里「めいりん」

講師:カウンセラー 鈴木るみ子さん

♪交流会～みんなで楽しくおしゃべりランチ

※要申込、15組限定

日時:16日(水)前10:30～正午

場所:ちっく・たっく

持ち物:お茶

参加料:大人700円・小人300円(昼食代)

♪0～1歳3カ月までのお友達ひろば

1日(火)・8日(火)・15日(火)・22日(火)・29日(火)

前10～正午

子育て支援センターだより

子育て支援センターは、子育てをしているお家の方なら、どなたでも利用できます。

【問い合わせ】☎65・7188 Eメール kosodate@city.fukui-ono.lg.jp

☆たんぽぽ広場

日時:毎週月～金曜日 前9～後2

場所:地域子育て支援センター(義景保育園内)

《主な行事》

【ことばの相談】2日(水)前10～正午 ※ことばの教室指導員対応

【給食試食会】10日(木)前11:30～ ※離乳食にも対応、要申込
28日(月)前11:30～ ※普通食のみ、要申込

【保健師による発育相談】14日(月)前10:30～11:30

【誕生会】24日(木)前10:45～

☆ほのぼのの広場(公立保育園開放)

日時:1日(火)・15日(火) 前9～11

場所:大野市公立保育園

(春日・あかね・荒島・阪谷・和泉)

※ほのぼのの広場終了後は、たんぽぽ広場をご利用ください。

☆育児相談(電話・面接のほかEメールでも可)

日時:毎週月～金曜日 前9～後5

場所:地域子育て支援センター(義景保育園内)

※子育て支援センターの行事予定表「あそびにおいでよ!」は、図書館・公民館などにあります。また、大野市のホームページからもご覧になれます。

児童センターの行事予定

●南部児童センター(☎66・2133)	開催日	時間	備考
おやつ作り(ひし餅押しずし)	2日	後3:30~	参加料75円
館内オセロ大会	7日	後3:30~	
ドッチビー大会	16~18日	後3:30~	
交通安全教室	24日	後3:30~	

●北部児童センター(☎65・3665)	開催日	時間	備考
おやつ作り(ひな祭りおやつ)	3日	後3:30~	参加料50円
トランポリン	8・16日	後4~	
卓球をしよう	9日	後3:30~	
館内オセロ大会	17日	後1:30~	

●東部児童センター(☎66・5233)	開催日	時間	備考
トランポリン	7日	後3:30~	
ひな祭り会	12日	後1~	参加料100円、定員20人
オセロ大会予選会	14日	後3~	

●西部児童センター(☎66・0912)	開催日	時間	備考
おやつ作り(桜餅)	3日	後3:30~	参加料50円
キラキラしゃぼん玉	8・9日	後3:30~	参加料20円
オセロ大会予選会	17日	後2~	
5館合同オセロ大会	25日	後1:15~	各館から代表4人ずつ

●和泉児童センター(☎78・2655)	開催日	時間	備考
穴馬和紙を使った楽器作り	7・14・28日	後3:30~	公民館共催
他の児童センターとの交流会 (汽車に乗って出掛けよう)	25日	前10~後6:25	
韓国のちぢみ作り(世界の食育)	28日	後2:30~	

	青少年悩みごと相談 (ヤングテレホン)	教育なんでも相談 110番	子ども救急医療相談 (毎日後7~11)
	☎66・1006 奥越青少年愛護センター (市役所内)	☎66・7717 適応指導教室 (青少年教育センター)	☎#8000 (短縮ダイヤル) または ☎0776・25・9955

テレビ・ゲームのすすめ

読む力は生きる力

—ずっと読みたい本を見つけよう—

テレビやビデオなどを消して、「家族と過ごす時間を大切にしましょう、家族で読書を楽しみましょう」と、呼び掛けを始めて2年が経過しました。保育園や幼稚園、学校では、少しずつ取り組みが進んでいます。家庭でも、それぞれの状況に合わせて、無理をせず取り組んでください。

今月は、子どもたちが「本を読む」こととの幸せな出会いをするために、大人がすべきことについて書かれた本を紹介します。「読む力は生きる力」(脇明子 岩波書店)です。



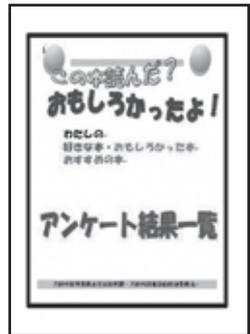
その中には、本を読むこと、本の世界を楽しむことが、子どもたちの世界を広げ、その成長過程において大きな助けになると書かれています。子どもは、小さいころから繰り返し、いい絵本を読んでもらうことで、自然に想像力が働き、言葉を理解し、物語を楽しむことができるようになります。その時期が来るまでは、文字が読めるようになって、家族が本を読んであげてください。

「本を読む」上で肝心なのは、一文字一文字を読

むことではなく、言葉を基に想像力を働かせ、内容を理解し、物語の展開に付いていくことです。ところが、映像メディア相手に育った子どもたちは、イメージを作る仕事は全部映像がやってくれるので、自前のイメージを作ることができません。そのために、絵本なら楽しめても、絵がなくなると立ち往生してしまうのです。～中略～絵を手掛かりに物語の世界に入りこんで楽しむのではなく、絵を次々に見て、せいぜいその説明として文字を読むだけになります」

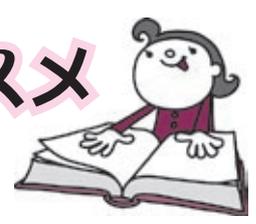
「文字は読めるのに本が読めない」子どもや若者ではなく、「本を読む」楽しさを十分に味わい、じんわりと心に染み込む、忘れがたい印象を残し、いつまでも手元に置きたくなる本と、ぜひ出会ってほしいと思います。

昨年実施したアンケート「この本よんだ？おもしろかったよ」の結果をまとめました。回答していただいた本とその本に対する思いを、すべて掲載してあります。公民館、図書館、学校にありますので、ぜひご覧ください。



みんなの図書館

読書のススメ



『哲夫の春休み』

斎藤徳夫 作
福音館書店 刊

哲夫は春から中学生です。春休み、お父さんの故郷の長岡へ、独り旅に出掛けます。各駅停車の上越線の中で哲夫は、たびたび不思議な体験をします。

長岡では、同じ年の少女みどりと出会います。二人は現在の時間と、過去の時間を行き来しながら、自分達の家族が、少年少女時代に起こった出来事や内面と向き合い、共に悩み、答えを見つけていく中で、少し大人へと成長していきます。

昔話やわらべ歌、宮沢賢治の作品など、作者が大切にしている世界がいたるところに散りばめられているのも、この作品の大きな魅力です。

新着図書

- 【ノンフィクション】
生くる(執行草舟)食卓は学校である(玉村豊男)Twitterの神々(田原総一郎)生き物の異変(生きもの異変)取材班)日本を診る(片山善博)
- 【フィクション】
電子の標的(濱嘉之)安土城の幽霊(加藤廣)あんでらすの鐘(澤田ふじ子)おしまいのデート(瀬尾まいこ)百万遍 流転回転上・下(花村萬月)トモスイ(高樹のぶ子)

【児童書】

- 漢字のサーカス(馬場雄二)走れ、セナ!(香坂直)土笛(竹内もと代)ジジのエジプト旅行(オスファール)アヤカシ薬局閉店セール(伊藤充子)
- 【絵本】
マドレーヌといたずらっこ(ペーメルマン)スレモンのアメリカ旅行(マクリントック)ゆきのひ(加古里さ)はらべこさん(やぎゆうげん)いちろつ(むこうがわのあのこ(ウッドン))



大野に残る古文書を楽しく解読

大野古文書会



大野古文書会は2月7日、県文化振興事業団の「野の花文化賞」の表彰を受けました。同会は大野に残る古文書を解読しようと平成7年7月に会員4人で結成。発足以来毎月1回、下庄公民館で活動しています。現在は、33歳から78歳までの14人の会員が例会を行っています。

例会ごとに当番を決めて、司会を担当するほか、墨で流れるように書かれた古文書3枚程度を原稿用紙に写し、解読をして、例会に持って行くこととしています。

例会には特別な講師がいなく、会員が互いに意見を出し合うことで修正点を確認します。初心者は聞いてくれるだけでなく、全員で声を出して読み合わせることで古文書に慣れようと心掛けています。ベテラン会員にとっても、生活の様式、農業や武家の慣わしと

いった専門用語に四苦八苦することもあったようです。

解読を続けてきたことで、同会が知った史実をまとめ、大野の良さを広く知らせるという目標が立ったようです。平成16年からは大野藩家老・内山良休の弟・内山介輔が残した「物頭役勤方手控」の解読を始め、昨年12月には約6年の歳月を掛けた解読集を発行しました。

同会の発足時から事務局を務めている荒木京子さんや松山陽子さんは「古文書の解読には根気も必要ですが、歴史が好きな会員にとっては、古文書を読んでもその史実を知ることが楽しみとなります。古文書や町並みなど大野は宝の山。会員が楽しみながら地道に解読してきたことが評価されたと話してくれました。



広告



酒田 うめのさん (春日一丁目・80歳)

酒田うめのさんは、永年にわたりボランティア活動を行っている功績から2月7日、知事表彰を受けました。酒田さんに、ボランティアへの思いや表彰の喜びについて聞きました。

——知事表彰の受賞おめでとうございます

昭和45年からボランティア活動を行ってきました。子どもに障害があったので施設を利用したことから、自分も何かできないかという思いで県社会福祉協議会の研修を受けたのがきっかけでした。40年間、図書館での本の読み聞かせや視力障害者の代筆、障害者の買い物に付き添うことなど、少しずつ活動してきてだけです。

——苦勞したことも多いのではありませんか

月に5回程度、市の社会福祉協議会を通じてボランティア連絡協議会の会員約10人が、要請に応じています。それぞれに違う人との出会いがあり、その人の個性に合わせています。毎回、緊張感を持って取り組んでいますが、堅苦しく感じていると相手にその気持

長年の福祉活動で知事表彰
できる範囲で心こめて取り組む

ちが伝わり、互いに心苦しくなります。感情的にならずに事故もなくその活動を終えるとホッとします。

——うれしさもあるんですね

感謝されることを目的に活動しているのではありませんが、「助かった」「ありがとう」の言葉は次への励みになっています。多くの人が活動に理解を深めてほしいと思っています。連絡協議会の会員も高齢者が多く、仕事を定年退職して時間がある人などが参加してくれば、もっと活動の範囲も広がると思います。

——長く続ける秘訣は

ボランティアの精神を持ち、複数の人と活動することが“こつ”ではないでしょうか。1人で行っていると行き詰まることもあります。活動する側も助け合い、相談しながら、自分ができる範囲で自らが楽しんでやればよいと思っています。

——目標はありますか

足腰が丈夫である間は、活動を続けたいと思っています。福祉は行政や関係機関に頼るだけではなく、自らが率先して動くことを念頭に置くことが重要ではないかと思っています。より多くの人がこの活動を理解してくれて、参加してくれるよう願っています。



九頭竜まつりシンボルマークを決定

春の新緑まつりと秋の紅葉まつりを合わせたまつりの呼称「九頭竜まつり」のシンボルマークが1月18日に決定しました。全国から公募された324作品の中から、大阪府和泉市の深川重一さんの作品が選ばれました。

深川さんは5月14日に九頭竜国民休養地で開かれる新緑まつりの開会式で表彰されます。シンボルマークは、九頭竜の「九」という文字に、太陽や笑顔、清流や新緑、紅葉を躍動感をもって表現されており、今後、ポスターやパンフレットなどに使用されます。

☎ 観光協会 (☎65・5521)



地域福祉計画の素案まとめり市長に報告

1月31日、第2次地域福祉計画と第3次障害者計画の素案がまとまったことから、報告書を地域福祉計画策定委員会の植田忠義副委員長と障害者計画策定委員会の福田洋一郎委員長が市長に手渡しました。

本計画は、地域福祉や障害者についての方向性を定めるために策定するもので、地域福祉計画は素案を公開し、市民などから意見を募集した後、3月末までに策定する予定です。



でっち羊かんを食べ比べ

2月6日、結ステーション内の藩主隠居所で越前おのおでっち羊かんまつりが開かれました。市内外から訪れた大勢の人が、市内13店舗のでっち羊かんの味を食べ比べ。参加者はパンフレットに掲載された店を確認しながら一切れずつ味わっていました。ひな飾り前のこたつで味比べをしていた参加者は「店によって、これほど味や固さに違いがあるとはびっくりです」と話していました。

このまつりは大野商工会議所が初めて開いた催しで、開始から2時間で600切れが完売し、各店から補充してもすぐに品切れとなるほど盛況でした。

大野・福井・美濃・郡上の4市が観光連携へ

2月5日、平成大野屋平蔵で、4市長が越前美濃街道広域観光交流推進協議会の設立合意書を取り交わしました。

豊かな自然や地域色あふれる観光資源を生かした周遊ルートづくりなどを進めようと、本市が越前大野城築城430年祭での交流を機に3市に提案。古くから人や物、文化の交流が盛んに行われてきた福井市から大野市を経由した美濃街道(現在の国道158号)と、県境を越えて岐阜県郡上市から同県美濃市へと結ぶ越前街道(現在の国道156号)を「越前美濃街道」と名付け、地域間交流の拡大や広域観光の推進に取り組むこととしています。具体的事業については、4月に設立総会を開いて決定される予定です。



話題のひろば

陸上アジア女王の福島選手が指導

1月23日、エキサイト広場で、ジュニアスポーツ教室が開かれ、子どもや保護者約290人が訪れました。広州アジア大会女子陸上100㍎、200㍎の金メダリスト福島千里選手が講師となり、低いハードルを使った練習やリレーで競う実技講習を行い、小学生約90人が参加しました。

トークショーでは福島選手が所属する北海道ハイテクACの中村監督、北風沙織選手、寺田明日香選手も加わり、夢の実現に向けてあきらめないことや感謝の気持ちの重要性を話しました。特に福島選手は「楽しいと思うことが力になった」と小学時代を振り返っていました。

この教室は総合型地域スポーツクラブ「みんなスポクラブ」と県体育協会とが合同で、2018年の福井国体向けジュニア層の競技力を上げようと開きました。国体競技に親しんでもらおうと、カヌーや弓道、トライアスロンの3種目の紹介や体験も行われました。



冬山遭難者の救助に備える

1月19日、大野署と消防本部は、荒島岳で雪山での救助訓練を初めて合同で行いました。

消防本部の山岳救助に従事する隊員10人と大野署員7人が参加。腰の高さまである雪の斜面を歩く訓練や、雪山での救助に必要な装備を活用する方法、遭難者をそりで運ぶ手順などを確認しました。

消防本部では山岳遭難事故が起きた際に、関係機関と連携を強くして対応していくこととしています。

火遊びする悪い鬼を豆で退治

節分を迎えて市内の保育園で、消防職員が鬼や消防戦隊に扮して、寸劇で防火を呼び掛けました。

鬼とウサギが火遊びで起こした火事を3人の消防戦隊が消火し、ウサギを救出。寸劇の中では園児らが豆で鬼を「退治」しました。義景保育園で、園児や保護者など約50人が寸劇を楽しんだ後、全員で「火遊びはしません」と誓いました。



乗り継がれて50年

越美北線物語



JR越美北線は平成22年12月15日で開業50周年。
越美北線の移り変わりや本市のあゆみを振り返ります。

第5話 明暗分けた北線と南線

●廃線対象の危機から存続へ

越美北線や越美南線は、廃線の候補とされてきました。その対象から除外されるためには「冬季積雪により代替輸送道路が年間10日以上閉鎖される」という条件もありました。越美北線の代替輸送道路である国道158号は昭和52年から54年まで年平均9.66日が不通と、除外条件を満たしていませんでしたが、雪崩により日中8時間近く不通となった日が3年間で4日ありました。これが含まれば廃線の対象から外されると願い、県や沿線の市町村が陳情を重ね、地元選出国会議員の協力を得て、その要望が受け入れられました。国鉄は昭和57年11月、廃止対象となる赤字ローカル線を再び国へ申請しました。申請された33路線の中に越美北線はなく、正式に存続することとなりました。

存続は恒久的ではなく、基準が見直されて厳しくなると再び廃線対象となる可能性もあり、利用者の増加が現在でも大きな課題となっています。

●南線は3セクの長良川鉄道に

越美南線は昭和57年8月に開業50周年を迎えましたが、第2次廃線申請の33路線に含まれたことから、越美線全線開通への道のりは極めて困難なものとなりました。

国は昭和59年6月に国鉄から申請された33路線のうち21路線の廃線を承認し、越美南線は廃止されることになりました。国鉄に代わる輸送手段として、バスへの転換や民営鉄道への譲渡など話し合わせ、越美南線は第3セクター「長良川鉄道」として昭和61年12月に営業を開始しました。

市民のうごき

平成23年2月1日現在(前月比)

世帯数	12,049世帯 (-16世帯)
人口	37,165人 (-84人)
〈男〉	17,675人 (-41人)
〈女〉	19,490人 (-43人)

◆1月中の内訳

転入	14人	出生	17人
転出	42人	死亡	73人

編集後記

越前おおの冬物語では冬の夜空に鮮やかな花火が打ち上げられました。越前大野城築城430年祭がフィナーレを迎えて感慨無量でした。多くの市民がイベントなど、企画や出演、観覧となんらかの形で参加したことで祭りが盛り上がり、さらには多くの来訪者が楽しみながら、交流も生まれました。県境を越える広域観光を推進し、この交流の機運を今後もつなげていこうとの取り組みにも注目し、さらに多くの市民と来訪者が市内外で楽しく交流する姿を取材できることもこれからの楽しみとなりました。



「自然と人との共生」近年よく使われる言葉だ。身近な環境問題から地球規模での環境破壊の対策が求められている中、言葉の響きやイメージが人々の共感を呼ぶからか。しかし意外と人それぞれ都合のいいように解釈している向きもあるようだ▼数年前に読んだある雑誌に、自然に対するアメリカ原住民の考え方が紹介されていた。「自然は神であり、人間は自然の一部として生かされていく」との要旨だった。そう言えばわが国でも古来から自然を信仰の対象としている例も少なくない▼私流に言えば、共生とは対等な関係や相互に利益を享受し合う関係によって成り立つ。野菜などの無農薬栽培や石油資源の使用を少なくするなど、一部分を捉えての共生はあり得るが、大自然を共生の対象とするのはあまりに人間の思い上がりと言える▼今年の1月は雪が降り続き、25年ぶりの大雪となった。当市でも3人が亡くなられ20人が重軽傷を負った。高速道路や鉄道も自然の猛威でストップ。県外では霧島連山・新燃岳の噴火もすさまじい。大量の灰による被害はお見舞いの言いようもない。まだ雪の方がましかとの声も聞かれた▼これらのことから「自然との共生」は根底に自然に対する畏敬の念を忘れてはならないことを再認識させられた(Y・I)

発行 福井県大野市

編集

情報広報課広報広聴係 ☎0779・66・1111



この広報紙は、古紙配合率100%の再生紙と環境に優しい大豆油インキを使用しています。